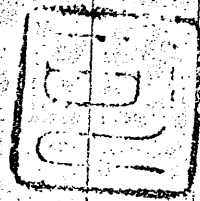


低官平安南道内務部長ヲ命セラレ大正八年九月二十六日同府平安南
道知事トナリ同十二年二月二十四日李王職次官ニ轉シ更ニ昭和七年
七月一日同職長官トナリ同時ニ特ニ親任官ノ待遇ヲ賜リ同十五年三
月九日依願退官ニ至ル迄在官前後通算三十一年餘行政官竝宮内官ト
シテ朝鮮ニ在リ其ノ事情ニ精通シ且大學卒業後常ニ好學研鑽ヲ怠ラ
ス克ク實際的研究ヲ通シ遂ニ大正十一年三月法學博士ノ學位ヲ獲得
シタルモノニシテ又自カラ學者トシテノ品格ヲ具ヘ居ルモノナリ依
テ紋上ノ見地ヨリ親任官待遇京城帝國大學總長トシテ最適任ト認メ
ラルルモノナリ

(日本標準規格 B. 4)



從二位勲一等公爵近衛 文麿
任内閣總理大臣兼農林大臣

内閣總理大臣米内 光政
農林大臣島田 俊雄

依願免本官
右

勅ヒ日ヲ奉シ謹テ奏ス

昭和十五年七月二十二日

海軍大臣吉田善吾

通

昭和十五年七月二十二日
日付は八月四日

臣光政

曩ニ 大命ヲ拜シ重任ニ膺リテ以來國際情勢ハ極メテ
重大ヲ加ヘ國內ノ施策亦一段ノ整備ヲ要スルモノ 勘カ

重大ニカヘ國内ノ旋第亦一段ノ整頓ニ要スルヲ其カ
ラズ臣夙夜報效ノ誠ヲ致シ以テ聖恩ノ萬一ニ應ヘ奉
ラシコトヲ期セリ然ルニ今般畑陸軍大臣ハ近時ノ政情
其ノ信念ト相容レザルモノアリ延テ軍ノ統督得テ期スベ
カラズトノ理由ヲ以テ辭表ヲ提出スルニ至リ翻意セシムルニ
途ナク又今日ノ事態ニ於テ後任其ノ人ヲ得ルコト到底
期待スルコト能ハズ是レ偏ニ臣ガ菲才ノ致ス所ニシテ時局
重大ノ折洵ニ恐懼ニ堪ヘズ仰ギ願ハクハ臣ガ重任ヲ解
キ給ハシコトヲ誠惶誠恐謹テ奏ス

昭和十五年七月十六日

内閣總理大臣 米内光政

臣
佐藤

曩ニ大命ヲ奉ジテ重任ニ膺リ
以テ今日ニ及ベリ然ルニ今回米内
内閣總理大臣辭表ヲ捧呈スルニ
至レルヲ以テ仰ギ願ハクハ臣が重

職ヲモ併セテ解キ給ハンコトラ
誠惶誠恐謹テ奏ス

昭和十五年七月十日

農林大臣 島田俊雄



從四位勲一等 松岡 洋右

任外務大臣兼拓務大臣

正三位勲二等 安井 英二

任内務大臣兼厚生大臣

正四位勲二等 河田 烈

任大藏大臣